

—誇り・交流・夢—



うきは

No.42

平成27年8月1日

(平成27年6月議会号)

市議会だより

CONTENTS

つたえる (こんなことが決まりました。条例・補正予算など) …… 2～3

市長に問う (一般質問) …… 4～7

市民の皆様からの意見 (議会報告会から) …… 8～9

委員会レポート …… 10～11

シリーズ「うきはの宝」 …… 12



祭だワッショイ!!



子ども達の夏(調音の滝公園)

上程された主な議案

- ◇報告(一般会計繰越明許・事故繰越・土地開発公社の経営状況) 3件
- ◇専決処分(条例の一部改正3件 固定資産評価員選任 平成26年度一般会計補正予算・特別会計補正予算・財産の貸付け) 7件
- ◇平成27年度一般会計補正予算(第1号) ◇うきは市道路線の認定 1件
- ◇市立公園条例の一部改正(小塩地区「ホタルの里広場」キャンプ地指定)
- ◇意見書(安保法制の慎重審議を求める意見書提出 追加議案 1件)

6月3日に召集された定例会は、右記の「上程された議案」を審議し、13日間の会期を終えました。

今議会は、国会における法律改正施行を受けた、(早急な条例改正施行を余儀なくされた)専決処分による条例の一部改正が主な議題となりましたが、その他の議案を含め慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決成立しました。

以下、議決された議案のうち、主なものについて、その概要をお伝えします。

市税条例の一部改正

(賛成13・反対1で可決)

この改正条例は、地方税法が今年3月31日に改正・成立し、翌日の4月1日から施行されたこ

とから、専決処分による改正施行が余儀なくされたものです。

改正の主な内容は、

◇ふるさと納税の拡充(4月施行)

①今年分の寄付金から特例控除額上限が1割から2割に拡充

②源泉徴収者による今年4月からの寄付は、5自治体まで確定申告不要(ワンストップ特例)

◇軽自動車

①今年度から税率引き上げ予定の原動機付き自転車及び小型特殊自動車等の適用は1年延期

②今年度取得した環境性能を有する軽自動車等は、税率を概ね75%〜25%を軽減(平成28年度課税分のみ減税)

◆たばこ税

旧3級品のたばこ（わかば・エコー・ゴールデンバットなど6銘柄）の特例税率が、平成28年度から段階的に引き上げられます。

国民健康保険条例の一部改正

（賛成13・反対1で可決）

この条例改正は、地方税法施行令の一部改正により、うきは市の国民健康保険を健全に運営するための措置を図るものです。改正内容は、

◆課税限度額

- ① 医療分52万円（現行51万円）
 - ② 支援分17万円（現行16万円）
 - ③ 介護分16万円（現行14万円）
 - ④ 合計で85万円（現行81万円）
- となり、所得の高い方の負担が4万円増えることとなります。

◆低所得者の軽減措置

- 国民健康保険税の2割軽減及び5割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引上げを行います。
- ① 5割軽減26万円
（現行24万5千円）
 - ② 2割軽減47万円（現行45万円）

市立公園条例の一部改正

この条例改正は、現在の保木公園、百年公園に加え、小塩自治区に整備された「ホテルの里広場」を新たにキャンプ場として指定するものです。

このキャンプ場は、うきは市山村地域振興事業として、「ホテルの里広場」の造成、池と東屋、かまど、流し台等が整備されて、清流と森に包まれた見事なキャンプ場が完成しています。

うきは市では、今後「小塩自治協議会」と協議して、キャンプ事業を委託（指定管理）する考えです。



キャンプも出来るようになりました。

「国際平和支援法」と「平和安全保障法」の慎重審議を求める意見書

提出者 岩淵和明議員
賛成者 大越秀男議員

質疑（江藤議員）この意見書の案文は議員が属する政党が作成したものか。また、意見書は「慎重審議を求め」としているが、共産党と社民党は「法案撤回・断固反対！」と明言している。同じ政党に属する国会議員と意見書提出議員との整合性を問う。

答弁（岩淵議員）案文は、私と賛同者で検討し作成しました。地方議会の意見書は、国会論議との関係で単に賛成・反対ではなく、市民の代表として広く考えて行く必要があり、「慎重審議を求め」としました。

討論

可決

安保法制を問う!

【反対】
柳川議員 意見書には「米軍との切れ目のない戦争体制を構築する」と書かれているが、今回の改正案とは全く的外れであり、反対します。

【賛成】

高山議員 日本の憲法は平和憲法として70年間平和を守ってきた誇りがある。総理は、この法案を是非でも早期成立したいとしているが、与党が招聘した学識経験者であっても違憲を唱えている。また、自民党の重臣だった人たちまでもが法案撤回の声を上げている。

これは、国民に十分理解ができるようにもつと慎重に審議をしていただきたいという当然の意見書である。賛成します。

鎌水議員 私は昨年の9月議会で「国民に丁寧に説明するとともに、国民的な議論を経て、国民自らが判断する国民投票を実施すること」を強く要望しました。

この意見書は、「国民の理解を得られるような」の文言に底深い意味があり、今後の動向を踏まえ賛成します。

【賛成議員】

岩淵 鎌水
熊懷 中野 佐藤 上野
江藤 藤田 伊藤 諫山
大越 三園 高山

【反対議員】

柳川

参加者に1時間3000円の報酬支払いに疑惑



三園 三次郎 議員

疑惑を持たれる行為はないと考えます(市長)

三園 地域支え合い事業の業務委託仕様書では、業務を行う障がい者賃金3人分300万円であるが、特定者の雇用はせず障がい者登録制度を導入し、随時に抽出招集している。参加者に1時間3000円の報酬支払いの事実と参加者募集に市議が関わっており、市民から不正の疑惑を持たれる行為と指摘があるが、どう判断されているのか。

市長 1時間3000円の報酬支払いは「やすらぎ会」の障がい者工賃が1時間3000円、最大9000円と把握しています。市民から疑惑を指摘されれば、事業内容の説明が市民の皆様に十分でなかったと感じています。

●● 市立公園への編入 ●● 県と協議の結果は

三園 藤波ダム周辺公園施設は市立公園として「編入する範囲を限定する。」としていたが、提案



地域支え合い事業のコールセンター全景

された議案には、編入する範囲が限定されていなかったため、県との再協議を求めていたが、協議の結果は、どのように決着されたのか。

市長 市立公園として維持管理部分は3・64ヘクタールとなっており、県と再協議を行いました。引き受け後の維持管理は、協定書内の行為であり、協定書の内容を変更しなくても、可能であるとの回答であったと承知しています。

人づくりは、将来を左右する重要な課題である



佐藤 湛陽 議員

住んでいる人のブラッシュアップがポイント(市長)

佐藤 うきは市に生まれ、学ぶことができてよかったと思われるようにしたいが、所見を伺う。

教育長 ふるさとを愛する心、ふるさとに貢献できる子供を育てていきたい。

佐藤 市長の教育に対するスタンス、具体的な取り組みを伺う。

市長 今回の新しい制度で、首長が公の場で教育行政について議論することが求められるので、責務が大きくなったと思います。

●● 地方創生と教育について

佐藤 地方創生を推進する上で学校教育が果たす役割は。

教育長 学校を核として、地域と学校が連携・協働した取り組みや、地域資源を活かした教育活動を進めることです。

佐藤 地方創生を推進する上で、教育の地域格差が生じるのでは。

市長 うきは市が遅れをとることがないように、しっかりと対応を

図っていきます。

●● コミュニティスクールについて

佐藤 コミュニティスクールについて所見を伺う。

教育長 うきは市においては、地域や保護者の方から非常に支援があるので、今後検討していきたい。

佐藤 保健室や図書館が本来の役割を果たしていないのではないかと。

教育長 学級に居づらくなったとき保健室にきたり、図書室にきたりは、有ってもいいのではないかと思います。



市内全校で温度測定を



中野 義信 議員

今年は全ての小・中学校で

温度測定をするよう指示します(教育長)

中野 去年の室内温度測定の結果はどうなっているのか。

教育長 昨年6月から9月にかけて、吉井及び浮羽中学校の温度調査を行っています。学校環境衛生基準では、教室等の温度については10度以上30度以下であることが望ましいとなっています。34日間調査を行い、30度を超えた日が吉井中学校4階で32日、浮羽中学校3階で7日という結果がでています。

中野 一番高い温度は何度か。

教育長 4階で38度です。

中野 教室の中で熱中症が出たら誰の責任か。

教育長 教育環境を整備しているのは教育委員会であり、教育長の責任と考えます。

市長 エアコン設置に関しては、地方創生の中で、子ども・子育て環境整備というのが重要な課題ですので、トータル的に考え、エア

コン対策にもしっかりと対応していきたいと思っております。

●● 姫治地区小学校並びに市内小学校の今後の運営について

中野 一番大事なことは、まず関係生徒、保護者、地元等の意見を聞き、その意見をもとに検討すべきではないか。

教育長 文部科学省より、公立小・中学校の適正規模に関する手引の策定通知があり、児童・生徒の保護者などの声を重視しつつ、丁寧な議論を行うことが望まれています。地元の代表者から考え等を伺い、意見等を踏まえて、教育委員会として総合教育会議で検討します。



最高温度38℃を記録した吉井中学校

子ども人口減対策を具体的に



岩淵 和明 議員

若い世代の子育て環境をどう作るか、都市部から若い世代子どもをどう呼び込むかに尽きる(市長)

岩淵 一時預りと病児・病後児保育についてどのように検討するのか。

福祉事務所長 一時預りは増やしても保育所負担が大きくなり、利用数も2か所実施で足りていないと認識しています。

市長 病児・病後児保育は、久留米広域定住圏協定の久留米大学医療センターなど2か所で広域利用が可能だが、利用児童はいません。今年度連携事業の検討で、うきは市に近い、もっと利用可能な近接圏に働きかけを行っているところです。

岩淵 学童保育で、学校の空き教室利用はどのように進めるのか。

福祉事務所長 学校との連携も必要だが、コミュニティーセンターの改築や自治協議会で夏休みの勉強を見る形もあり、自治協議会との連携を深めた方がいいと

思っています。

岩淵 3月1日広報の介護制度改正について、10年後「支えられる側」「支える側」との表現は、認定申請者にとって気まずい表現になっていないか。

市長 政府の社会保障制度改革の考え方で、働く意欲のある人が働ける社会を目指し、支える側を増やしていくと言うもので、市民みなさんが健康で生き生き社会参画できる世の中になんと思っています。



耳納クリーンステーションは
ぜひ15年延長を



大越 秀男 議員

最大限の努力をします(市長)

大越 耳納クリーンステーションの平成30年4月以降の操業延長期間を、市が15年にするとしたことについて、関係区との調整はできているのか。

市長 15年延長と5年延長の区があり、一本化できていないので、すべての区において、同じ条件でご理解を賜るよう努力したいと考えています。

大越 千代久区の苦渋の決断である15年延長同意は、施設を長く使うことでの市の財政面、従業員の雇用の安定面からもプラスになるので、市長の強い決意を聞きたいが。

市長 すべての区に同じ条件で理解を得るべく、最大限の努力をしてみたいと思います。

●●● 行政区加入促進条例制定を

大越 行政区未加入問題は市政の大きな課題だが、市民の福祉や災害時の対応、また納税意識の醸成などにもつながる行政区加

入促進条例制定で少しでもその解決を図つたらどうか。

市長 法的な強制力がなく、行政からの強制はできないと考えており、区への加入については、地域での働きかけ、お誘いを可能な限りお願いしたいと思っています。

●●● 上水道事業計画について

大越 上水道事業計画に関する市民アンケートの項目に、水源の項目を入れてほしいと思うがどうか。

市長 改めて水源をお尋ねする考えは持つておりません。



長く使えば市民負担も軽く!

文化財の保護と活用は



上野 恭子 議員

経済的波及効果の活用が重要と認識しています(市長)

上野 鏡田屋敷、居蔵の館を食事茶屋どころとしての活用は。

市長 国への用途変更の手続きと施設改修が必要で、文化財として固有の価値を損なうことなく活用を進めてまいります。

上野 一の瀬焼活性化案として「一の瀬の散歩路」を造る考えはないか、また県伝統工芸品としての認可はどうなったのか。

市長 焼き物を埋め込んだ散歩路につきましても検討してまいりますし、伝統工芸品は幾つかの問題点指摘がありました。

●●● 業務委託について

上野 どこまでが委託なのか。結果を求め活性化も含んだものなのかまた、福祉関連委託については障がい者優先調達推進法を十分理解しているのか。

市長 堅実に実行する事が求められ、事業者としての責任でもあり、また入札選定方法において障がい者を多く雇用する事等の仕組になつていない実態なので

障がい者優先調達推進プロジェクトチームを設置しています。

●●● 18歳選挙権に向けた取り組みについて

上野 学校教育での政治や選挙に関心を持つ中立性のある学習は考えてあるのか。

教育長 法制上の措置を講ずるとしており、中立の観点より学習指導要領等の改訂を待つて適切に指導してまいります。

●●● AED救急対応について

上野 機器不足分は総合戦略事業計画の中に組み込めないか。
市長 なじまないと考えます。



上「居蔵の館」
下「鏡田屋敷」



議員の一方的な質問ではなく 市長は「反問権」行使を



江藤 芳光 議員

必要となれば選択肢のひとつ(市長)

【うきは農業振興政策】

江藤 うきは農業は、経営基盤が旧態然と進展しない現実課題を問う。

- ① 集積(飛び地・未整備圃場対策)
- ② 増加する離農地の受け手対策
- ③ 農業従事者の確保(人材バンク)
- ④ 米価下落による大豆や戦略作物への転作を図るための団地形成

市長 (答弁は次のとおり)

① 飛び地対策は、隣接した農地を誘導していますが、未整備圃場対策は収益性から厳しい状況です。

② スムーズに農地の受け手が見つかる状況にはありません。

③ 人材バンクの整備を検討しながら、農業従事者の確保に努めます。

④ 大豆団地(国本・古川)の作付けを3年から2年に検討しており、大豆、飼料米等の作付拡大に努めます。



昭和40年代までアユの群れが遡上していた大石堰

江藤 現状課題の解消及び振興戦略を図るプロジェクトの設立を求める。

市長 うきはレインボーファーム事業を進める中で検討します。

●● 筑後川にアユを甦らせる 総合戦略

江藤 筑後川にアユを甦らせる総合戦略を国・県、流域の関係自治体に働きかけるよう市長に提案する。

市長 重要な提案です。流域全体で取り組むよう、いろんな機会をとらえて、訴えて行きます。

健康寿命延伸で幸せな人生を



諫山 茂樹 議員

健康寿命延伸のための取り組みを積極的に進めます(市長)

諫山 平均寿命と健康寿命との差を縮め、介護期間を短く幸せな人生を送るための取り組みを提案する。

市長 市は健康増進計画を策定し進めています。健康寿命延伸の取り組みを積極的に進めます。

諫山 健診データ等を分析活用するデータヘルス計画の実践は、健康寿命延伸に効果大と思うので是非実践すべきと考えるが。

市長 効果的な保健事業を目指し本年度中に計画書策定の予定。

諫山 健康寿命延伸都市を宣言し、意識の醸成を図る取り組みを提案する。

市長 宣言に関しては十分検討する考えです。

●● 企業誘致に関する道路他

諫山 自主財源確保に重要な企業誘致の取り組みと成果は。

市長 立地係員の増員や県の企

業立地課と連携しトップセールスを含め積極的に進めています。

諫山 設計まで完了の、下の川から三春工業団地に至る道路は誘致に不可欠だが、今後の計画は。

市長 九州北部災害にて中断している状況で、高見交差点改良の状況を踏まえ検討して行きます。

諫山 この道路は安全性や三春地区の活性化に重要な道路ではないか。

市長 今後しっかり検討します。

●● 水力発電事業の進捗状況は

諫山 早期完成を希望するが。

市長 工程管理通り進捗中です。



橋だけが完成していない三春工業団地へ至る道路

平成27年度「議会報告会」を開催しました

4月20日（月）から4月23日（木）までの4日間、議員15名を3班に分け、自治協議会11組織の会場で開催しました。資料に基づき報告を行い、その後、活発な質疑応答・意見交換が行われました。参加いただいた市民の皆様にご心より感謝を申し上げます。

【報告内容】

1. うきは市の人口推移
2. 行政機構（組織）改革
3. 平成27年度予算の概要
4. うきは市の財政状況
5. 補正予算とその他の事項
6. 各委員会での審査状況
7. 「上水道事業」に関するアンケート実施について



◆開催日時・場所・参加人数（参加者数はアンケート回答者数）

開催日	校区	会場	参加人数		
			男性	女性	計
4月20日 (月)	新川	コミュニティセンター	14	6	20
	田竈		19	5	24
	妹川		15	3	18
4月21日 (火)	小塩	コミュニティセンター	9	1	10
	山春		15	3	18
	福富		23	3	26
4月22日 (水)	江南	コミュニティセンター	36	1	37
	吉井	生涯学習センター	8	6	14
	御幸	かわせみホール研修室	15	4	19
4月23日 (木)	大石	コミュニティセンター	13	7	20
	千年		12	9	21
合 計			179	48	227
			今年の参加人数は253人		

※昨年の参加人数329人（アンケート回答者数306人）でした

◆アンケート結果（主な内容）

1. 参加者の年齢構成は50代が19.1%、60代以上が73.9%、50代未満が7%で、若い人達の参加が少ない状況でした。
2. 3回目の開催となり、初めての参加30.7%、2回目参加32.4%、3回目参加36.9%でした。
3. 開催の了知は、広報うきは39%、地域役員さんを通じて26.8%、防災無線16.4%で知った方が多数でした。
4. 開始時刻（午後7時30分）89.4%の方が妥当とのご意見でした。
5. 所要時間（1時間30分）79.8%の方がちょうど良い、短い・長い、の方が10.1%と同比率でした。
6. 報告会での内容については、普通が54.1%、良かったが29%でした。

議会報告会における、市民の皆様からの主な意見・要望に対する執行部の回答です。

● 区長報酬見直しと委嘱廃止について

【回答】合併時からの課題であり、校区・地区区長会を通じて説明を行い、今回実施したところです。ご理解をお願いします。区長委嘱が廃止になっても行政区の「長」である区長は必要です。また、区が無くなることにはつながらないと考えています。

● 学力向上に対する取り組みを

【回答】うきは市教育委員会と保護者代表、小中学校の校長等で「学力向上検証委員会」を組織し、家庭学習習慣の定着・学力低位層の底上げについて具体的な数値目標を設定し、各中学校ブロック毎に検証するための組織をつくり、学力向上に取り組んでいます。



福岡県南広域水道企業団の全景(久留米市荒木町)

● 上水道整備に関するアンケートについて

【回答】アンケートの範囲については、執行部と議会が検討を重ねた結果、全世帯を対象としました。

上水道整備前には、市民の皆さまに十分な説明を行います。

● 上水道のメリット・デメリットを明確にすべきでは

【回答】市民の安全・安心な水を将来にわたって確保し、建設費や維持管理費等の大きな財政負担を伴う大事業となりますが、慎重な財政運営を行いながら、地域や産業を支える社会基盤の充実に図るため、上水道の整備は必要と考えております。

● 山間地に若い人たちが残れる市営住宅の家賃優遇について

【回答】山間地に限らず、うきは市内の市営住宅については、「公営住宅法」「うきは市市営住宅管理条例」の規定に基づき、整備・管理を行っています。

その設置目的から若年層に限定した家賃優遇措置については特段の規定は設けていません。

● 消防団員不足について

【回答】消防団員の確保については、重要な課題として捉えています。

消防団員と消防職員OBなど、経験のある住民が加入できる地域団員の加入促進を図るとともに、校区・行政区の子ども会や各地区の消防団による防火講習会等を実施することで、小さなころから消防団に憧れ親しむ機会を企画していくことも今後の団員確保へつながるものと考えています。

また、活動内容の検討を行い入団しやすい状況を作っていくことも今後の課題として、引き続き消防団関係者との協議を進

めたいと考えております。

● 「ちかぜ」のような入浴後ゆっくり出来る居場所が欲しい

【回答】市では、高齢者の外出機会を増やし、筑後川温泉・吉井温泉の活性化による地域振興を目的に、市内8カ所の温泉施設が利用可能な「ふれあい入浴補助券」制度を開始したところです。市民の皆さまの積極的な利用を期待しています。

市の温泉施設「ゆうゆうセンター」には大広間がありますので、ご利用をお願いいたします。



お風呂のあとはゆっくりと。

※執行部への意見・要望の回答は、うきは市議会ホームページに掲載しています。

総務産業常任委員会

上水道事業を確認

(平成27年4月28日実施)

今年4月、機構改革により「水資源対策室」が設置されたことを受けて、今後、進めようとする事業の概要等について、執行部との確認を行いました。

【確認事項】

①水源 小石原川ダム(うきは市の確保水量5、740t/日)

※平成31年度完成予定

②県南水道企業団に加入した場合の概算費用

平成22年に合所ダム(案)と比較した(単位万円)

県南企業団加入負担金	24億4,271
うきは市施設整備費用	85億2,400
うきは市維持管理費 (50年間)	89億6,909 (年1億7,938)
投資的経費(起債・利子)	113億3,980
国庫補助金	△29億5,301
総事業費 (50年間の概算費用)	283億2,258

③市民の意向が「カギ!」

上水道の利用者が少ない場合でも、確保水量(5、740t/日)の75%(金額にして毎年1億円余)を負担することになっていきます。したがって、上水道事業における経営的な課題は、市民が上水道を利用するか否かにかかっています。

【まとめ】

上水道事業にあたっては、アンケート調査実施による市民の意志を基軸に捉え、地下水の保全を図りながら、うきは市の存立にかかわる大事業として、今後は「水資源対策特別委員会」の中で、議論を深めて行きます。

鹿児島県「農業公社」を調査

(平成27年5月12日実施)

◇鹿屋市及び志布志市

両市とも、公社の目的は、担い手育成(研修期間2年間、2年目から独立経営)、農地の集積、農作業受委託、農業機械貸し付けなどを主な事業としています。



鹿屋市「農業公社」での研修

①鹿屋市は平成10年、志布志市は平成8年に農業公社を設立

②担い手研修期間(2年間)

両公社ともに、県外を含め、毎年3家族を定住条件で受け入れています。特に志布志市は、研修者108人中、就農者80人の実績が評価されています。

③研修による新規就農者の作目

鹿屋市(スプレー菊)

志布志市(ピーマン)

④主な農産物

鹿屋市 畜産(豚・肉牛・鶏)

野菜(大根・ピーマン・葉ネギ等)

志布志市 お茶・さつまいも

キャベツほか

⑤農業経営体型 両市とも集落営農ではなく、当初から農業公社化

⑥農業公社への財政支援

鹿屋市 運営支援は、市80%・JA20%で、平成26年度は2、100万円を補てんしています。

志布志市 運営支援は、鹿屋市と同じで、毎年平均4、000万円を負担しています。

⑦今後の展望

鹿屋市 10年後を描いた「か のや農業・農村戦略ビジョン」の実現。

志布志市 農業主体はお茶であり、「健康とお茶」で海外輸出をめざしています。

【まとめ】

両市では、公社を母体とした先進的な取り組みとして、新規就農研修事業などを行っており、うきは市「地方創生」総合戦略の「(株)うきはレインポーフアーム」の設立と、この事業を成功に導く実践例として、大変参考となる研修でした。

厚生文教常任委員会

うきは市不登校問題の現状
と課題調査

(平成27年5月12日実施)

市内小中学校の不登校が大きな問題となっているため、吉井中を訪問し学校側と意見交換をしました。また、不登校生徒のための適応指導教室、通称「キーノート」を訪問し、現況を聞き取りしました。

●市内中学校の不登校について

【国の不登校の定義】

年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち、病気や経済的な理由を除いたものとしています。

平成26年度末の不登校数は、吉井中が38人で、不登校解消が7人です。浮羽中が15人で、不登校解消が2人です。

不登校は集団生活になじめない、友人関係の不安・家庭環境・怠け・体調不良・勉強への苦手意識・非行傾向など、複雑な要因がまじりあって起きているので、原因を特定することが困難な事例があります。

欠席が3日以上続いている生徒には、担任が家庭訪問や電話

掛けを行い、保護者や生徒とのつながりを大切に対応しています。週一回の定例教育相談部会で外部機関と連携を図るとともに、職員研修を行い、共通理解と個別対応ができるように工夫しています。



質問…スクールカウンセラーの活用状況は

回答…本年度は、親と子の直接的な利用は多くありませんが、家庭訪問した担任から状況を把握しカウンセラーの意見を聞き、学校としての対応を工夫しています。吉井中のカウンセ

ラーの勤務時間が昨年の週4時間から8時間と倍になったものの不登校数に比べ、とても足りていないのが現状です。

●「キーノート」について

不登校生徒のための適応指導教室「キーノート」は、調査時点では5人が通っています。中学生4人、小学生1人。通級理由は様々ですが、市内・外から通級が可能で、教育相談・体験学習・教科学習などを行っています。平成11年度〜26年度延べ140名が利用。

質問…不登校の原因は

回答…友人とのトラブルや家庭環境の問題等、複雑化しています。分かり合える仲間ができて人間関係を築けたり、再スタートが芽生えています。

所見…不登校問題は、吉井中の「スマホ家庭教育宣言」に見られるように、生徒・学校・保護者が一体となった取り組みと、就学前の知能検査や寺子屋等学習習慣の形成、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの積極活用等、考えられる、あらゆる対策で取り組む必要を再認識しました。

市内福祉事業関連施設の現地視察調査

(平成27年5月20日実施)

社会福祉協議会管理施設4か所、やすらぎ会管理施設2か所、浮羽老人ホーム・ゆうゆうセンターについて委託管理状況と、利用実態を視察しました。所見…必要とされる福祉事業ですが、財政や施設更新・改修など、自治体単独では困難な面も抱えている実態もありました。

しかし、利用者の立場になって物事を判断していくと言う基本を忘れず、より効率的・効果的な運営を目指して取り組み続ける必要があると確認しました。



共同作業所 作業風景

第4回 「装飾古墳」

私たちのふるさと「うきは市」は、古墳が多く残るところとして全国的に知られています。中でも、国の重要文化財の珍敷塚(めずらしづか)をはじめ、色鮮やかな装飾古墳が多数残っており、描かれたその絵は見る人に古(いにしえ)のロマンを語りかけてくれます。



珍敷塚古墳 全国的にも有名なうきは市を代表する装飾古墳で、死者を黄泉(よみ)の国に送る儀式を描いているとも言われ、見るものにロマンを語りかけるかのような素晴らしい装飾画です。*見学可(5日前まで教育委員会まで申し込み) 吉井町富永



第4回目の今回は、市内に多く残っている装飾古墳を紹介いたします。
※写真は、うきは市教育委員会より提供されたものを使用しています。



日の岡古墳 若宮八幡宮境内にあり、大型同心円文・蕨手文・続三角文などの幾何学文様や盾・靴・太刀・武具・魚・船・馬・獣などの文様多数。*見学可(5日前まで) 吉井町若宮



古畑古墳 屋形古墳群の中にあり、横穴式石室内に大きな同心円文、三角文・小円文・人物像なども描かれている。
*見学不可 吉井町富永



重定古墳 大型石材で造られた複室構造の豪壮な横穴式石室の側壁に、同心円文、靴、鞆、蕨手文、三角文などが描かれている。*見学可(5日前まで) 浮羽町朝田



原古墳 単室の横穴式石室で、奥壁に珍敷塚同様の大型の船が描かれており、大きな櫂、船上には弓を持った人物も描かれている。
*見学不可 吉井町富永

委員長 江藤 芳光
副委員長 大越 秀男
委員 佐藤 湛陽
中野 義信
鏑水 英一
岩淵 和明

広報広聴委員会

議長 岩佐 達郎

発行責任者

国の政策である「地方創生」を受け、うきは市は「うきは市ルネッサンス戦略」と銘打ち、市活性化策を検討中ですが、もともと国の高度経済成長政策によって、人も物も大都市に集中した現状はそう簡単に元に戻せるものではありません。少子高齢化による人口減少など、越えなければならぬハードルは非常に高く、何かやらなければ何も変わらない現実を見れば、行動するしかないのかもしれない。

編集後記



議会事務局

TEL 75-4990
FAX 75-3342